

あ、それ、スクリプトで
解決できます！

株式会社シンクス
市川せうぞー

はじめに……

スクリプト機能って？

- ・ AppleScript (Mac)、VBA (Win)、JavaScript (Win, Mac) がある。
- ・ LL (Lightweight Language)、軽量言語
- ・ 習得が容易
- ・ 環境はすでにインストール済み
- ・ InDesign のほとんどすべてのオブジェクトを操作できる
- ・ AS ならば、他アプリケーションとの協調作業や、UNIX レイヤーも使える

スクリプトって「自動化ツール」のためにある？

▼自動化ツール

たくさんの人が遣う
予想外な使い方をする人がいる
エラートラップ（例外処理）が必要
使い方のシーケンス（UI）を考える
必要

より汎用性を高く設計する必要
中規模開発
時間がかかる
コスト高

目の前にはさまざまな問題（課題）がある

InDesign のバージョンアップによる機能アップは待ってられない。欲しい機能がフューチャーされるかどうかは不明。プラグインは帯に短し襷に長し ... しかも高かったり、使い方が面倒だったり。あ、InDesign にはスクリプト機能がありましたね。何かを別途購入する必要もないです。「それ、スクリプトで解決しましょう」

▼おうち遣い

欲しいときに自分で書いて自分で遣う
自分用途なので、機能もジャストフィット
余計なエラートラップなし
使い方、内部動作もわかっている
汎用性なんて考えない
極小規模開発（LL）
すぐ書いて、すぐ実行
低コスト

そもそもスクリプト機能は、おうち遣い用のための機能。

InDesign にはスクリプト機能の使用を前提にした機能がある

- ・ XML 機能は、単体では単なる差し込み印刷
- ・ XML 汎用プラグインは、設定が複雑な上に、高額すぎる
- ・ XML の扱いにはスクリプトによる制御が必須
- ・ InDesign Server は、プラグインまたはスクリプトでのみ動作可能

オマケ・・・

Ruby で操作する InDesign (rb-appscript)

- ・ Ruby の柔軟でパワフルな特性と、豊富なライブラリでさまざまなことができる。
- ・ ローカルホストで、InDesign Server のテスト機として CGI を書ける。作成したスクリプトはそのまま InDesign Server 上で動作する。
- ・ ネットワーク上のコンテンツを収集・解析して、自動組版できる。
- ・ MySQL などの RDB と直接やりとりして、自動組版できる。プラグイン不要。